

大向正義（未来の会）

事業仕分けによる税金のムダづかいの二掃を

問 蒲郡市においても、市民の目線でムダを排除する事業仕分けを行い、予算編成を行っていく必要があるのではないか。

答 事業仕分けは非常に有意義だと思っているが、今の段階で来年度の予算編成に導入する考えはない。今後、事業廃止の必要に迫られた際には有効な手法になると考える。

競艇収益を市民の豊かな生活と未来のために

問 現在、競艇収益は市民病院等に繰り出されている。今後、財政的な自立ができたら、市民税減税の財源や保育園等の建てかえなどに使ってはどうか。

答 競艇の収入は安定収入ではないので減税には不向きと考える。保育園の改修等に使用したいと思っている。

モーターボートレース



小林優一（未来の会）

積極的な広域行政の推進を

問 斎場、焼却場の広域化についての考え方は。

答 斎場については、将来に向けた基本構想を委託している。それを受けて幸田町とも協議を行ってほしい。焼却場については、東三河ブロックの中で計画を策定し、平成30年度以降に施設の更新を行う予定。

市民に対する財政状況の適切な情報開示を

問 公会計の開示で得られる住民に対する効果は。

答 財政状況の公開により、行政の透明性をより高める効果があると考えている。また、分かりやすく公表し、市民への説明責任を果たしていくべきと考える。

その他の質問
1 ユトリーナ蒲郡での高齢者の無料利用

新実祥悟（無会派）

市民病院での分娩予約のお断り

問 どのような場合に分娩予約のお断りをしてい

るのか。また、お断りする際に他の医療機関の紹介などをしているのか。

答 通常お断りするのは、30人の分娩予約の枠を超えた時の里帰り分娩いわゆる市外の方の分娩。電話等でのお問い合わせでは、正式な紹介はできないが、東三河管内の産婦人科の空き状況等をお知らせしたい。

名鉄西尾・蒲郡線の存続について

問 名鉄西尾・蒲郡線は、社会的弱者への公共の足として残していくべきと考える。市は名鉄とどのようににかかわっていくのか。

答 名鉄側にさらなる企業努力を求め、利用者負担を前提とした上での公的資金等の支援も必要と考えている。

喚田孝博（市政クラブ）

歳入予算の見通しについて

問 来年度の歳入予算の見通しはどのようなか。

競艇事業の経営改善を

答 市税収入は約6億円減の12.6億円程度、地方交付税は前年度と同額程度、暫定税率の廃止による減収は1億6千万円程度と見込んでいる。市債については、後年度への負担を配慮したものにしたい。

10月に開設された新ボートウイングで他場発売を増やせないか。またミニボートピア大須の展望は。

答 来年度、地元のご理解をいただき、ボートウイングのみでの他場発売を拡大し、売り上げ増を目指

